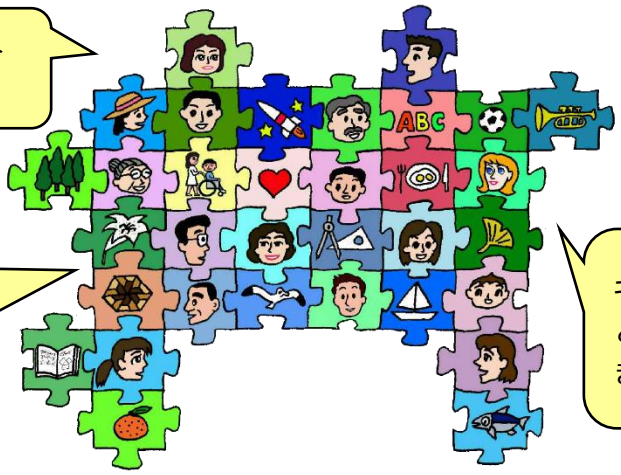
「かながわ版キャリア・パスポート」リーフレット

キャリア・パスポートの効果的な引き継ぎに向けて

～児童・生徒の社会的・職業的自立に向け、
必要な基盤となる能力や態度を育てるために～

各学校で作成したシートをよりよくするために！

「校種をつなぐ」シートの具体的な工夫や活用の方法は？



キャリア・パスポートはどのように高等学校へ引き継いでいくのですか？

令和２年３月、キャリア教育のさらなる充実に向けて、県教育委員会では「かながわキャリア教育指導資料」及び「かながわ版キャリア・パスポート」により、各学校が参考とする例示資料を作成しました。

このリーフレットは、各学校で積み上げてきた学びを記録し蓄積したキャリア・パスポートを、校種間で効果的に引き継ぎ、指導に役立てるための手立てをまとめたものです。神奈川県で育つ子どもたちが、キャリア・パスポートというツールによって学びをつなげ、将来の社会的・職業的自立や社会の中でその人らしく生きるための基礎となる力や態度を育成できるよう支援していきましょう。

キャリア・パスポートとは？

「児童生徒が，小学校から高等学校までのキャリア教育に関わる諸活動について，特別活動の学級活動及びホームルーム活動を中心として，各教科等と往還し，自らの学習状況やキャリア形成を見通したり振り返ったりしながら，自身の変容や成長を自己評価できるよう工夫されたポートフォリオのこと。」

「キャリア・パスポート」の様式例と指導上の留意事項 H31.3.29 文部科学省

内容や運用上の留意点

どんな特徴があるの？

○各学校、各市町村教育委員会でカスタマイズします。
○学年・校種を越えて引き継ぎます。
○A4 判で統一し、各学年で５枚以内とします。
○大人が対話的に関われる工夫をします。
○基礎的・汎用的能力の育成というキャリア教育の視点が盛り込まれています。

留意点は？

○他の教材と同様に指導上の配慮を行います。
○記述内容を、そのまま学習評価にするのは適切ではありません。
○管理は原則として学校で行います。
○学年間の引き継ぎは教師間で行います。
○校種間の引き継ぎは、原則、児童・生徒を通して行います。

※支援を要する児童・生徒については、障がいの状態や特性及び心身の発達の段階等に応じて指導します。（本紙 P.５参照）